

プロレス

力士からプロレスラーに転身した力道山が空手チョップで外国人レスラーを倒す姿に人々が夢中になったのは、街中にまだ戦争の傷跡が残る時代でした。昭和28年に発売されたテレビは庶民にとって高嶺の花で、プロレス中継を見たい人々は街頭テレビの前に押し寄せました。力道山の死後、一時低迷したプロレス人気ですが、アントニオ

猪木やジャイアント馬場が新しい団体を旗揚げすると、昭和50年代頃には再び盛り上がりました。レスラーが次々と繰り出す得意技、馬場チョップや十六文キックに固めなどの真似をして、プロレスごっこで遊んだ思い出のある方も多いのではないのでしょうか。ビューティーベアや



クラッシュギャルズなど女子プロレスも加わり、女性ファンの人気も集めました。当時は各テレビ局のゴールデンタイムでプロレス中継が放送されました。この実況中継からはアナウンサー達による数々の名実況も生まれました。

仏事の豆知識

お線香番

お通夜が終わったら、遺族は夜を徹して線香やろうそくの灯りが消えないようにします。このように故人に付き添うことを「お線香番」、「通夜のお守り」などといいます。この慣習は地方や宗派によってやや違いはありますが、「通夜」の語源である夜通し、夜寝ないで付き添うことが供養になるとの考えがベースとなっているようです。一晩中

線香やろうそくの火を絶やさない理由には諸説あり、故人が寂しがらないように線香のよい香りを故人への供物とする、立ち上る煙に乗って照らされた道を迷うことなく天国へと行けるようになどの意味があります。簡単に一晩中といっても、家族の人

数や健康状態などにより難しいこともあります。その場合は長時間燃焼お線香を利用しましょう。近年は、葬祭会場で通夜を営むことも多く、場所によっては遺族が宿泊できないケースもあります。付き添う場合、疲れていれば身内で交代でみるようにしましょう。



生活の中の仏教語

あみだくじ

紙に書いた線の端に「あたり」、「はずれ」、金額や景品などを書いて隠し、各自が選んで引き当てるあみだくじ。紙と鉛筆があれば簡単に作ることができるので、誰もが一度はやったことがあるのではないのでしょうか。あみだくじの「あみだ」は、極楽浄土の仏である「阿彌陀如来」に由来していて、その

歴史は古く、室町時代からおこなわれていました。その頃のはみだくじは、現在のあみだくじとは違い、中央から外側へ人数分の線を放射線状に書いていました。この放射線状の線の形が阿彌陀如来の後光、背中に光り輝く「光背」に似ていることから、「あみだくじ」という名前がついたと

いわれています。もともとは、線の端に異なる金額を書き、各自が引き当てた金額を出しあってお菓子などを購入し分配する際に使われていたようですが、現在では順番や役割を決めたりするなどさまざまな用途に使われています。



よつば

- くらしの知恵袋… 春の野草でオリジナル健康茶
- 仏事のころえ… 供花の選び方
- 昭和さんぽ… プロレス
- 仏事の豆知識… お線香番
- 生活の中の仏教語… あみだくじ

— 明治22年創業の信用と実績 —

墓石・採石・生コン・建設業・不動産取引業



森近石材有限公司

〒720-0311
福山市沼隈町草深2564-2
TEL (084) 987-2133(代)
TEL (084) 987-2934(夜)
TEL (084) 987-2820(展示場)
FAX (084) 987-2714

歳時記

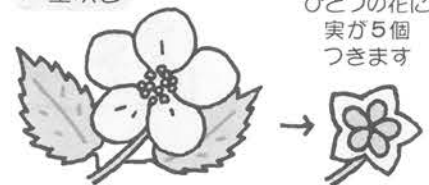
山吹 (やまぶき)

日本中どこでも見ることのできる、鮮やかな濃い黄色の花で、江戸城を築城した太田道灌の逸話にもでてきます。

後拾遺和歌集にも

山吹は、バラ科の落葉低木で、春の陽気に誘われて出かけることの多いこの季節には、庭先や公園などでもよく見かけます。小判や黄金を山吹色とたとえるように、晩春に咲かせる鮮やかな黄色の花は古くから人々に親しまれてきました。平安時代中期の兼明親王の「七重八重花は咲けども山吹の実の一つだに無きぞ悲しき」という和歌が後拾遺和歌集にのこされています。花は一重咲きと、八重咲きがあります。

一重咲き



ひとつの花に実が5個つきます

八重咲き

八重咲きの山吹は和歌にもあるように実がなりません



太田道灌の逸話

室町時代の武将で、後に徳川家康の居城となる江戸城を最初に築城した太田道灌が若き日のことです。野掛けに出た際、突然の雨に遭いました。困った道灌は近くの家に行き雨具を借りようとしたところ、中から出てきた娘は雨具どころか、黙って山吹の枝を差し出すだけでした。このとき道灌は、娘の差し出す山吹の意味がわかりませんでした。後に家来から兼明親王の和歌を進言され、貸し出す蓑ひとつないことを実のならない山吹で伝えた娘の意図を理解したのです。己の未熟さ

を知った道灌は、なお一層勉学に励み歌人としても名高くなりました。この太田道灌の逸話は、落語「道灌」にも登場します。隠居さんに道灌の逸話を教えてもらった八五郎さん、自分の家に雨具を借りに来た客をこの和歌で断わろうと考えますが…はたして上手く行くのでしょうか？その結末はぜひ寄席や落語会でお楽しみください。花が咲くことを「花笑う」といいます。待ちわびた花が咲く喜びが伝わってきますね。山吹の花笑う季節、人は落語で笑ってみてはいかがでしょうか。



春の野草でオリジナル健康茶

公園や庭の片隅を探すと、食べることができる野草があり、薬効があるものもあります。探すだけでも楽しい身近な野草を摘み、自然の恵みをいただきましょう。



野草を摘む時の注意点

排ガスや農薬がかかっていない、食べるのに適した野草を探しましょう。



山で野草を摘む場合は入山可能なところへ、私有地に入るときには管理者の許可を得てください。



野草によってはお茶に向かない、毒性のあるものもありますので、注意しましょう。



野草は、しっかり乾燥させて使いましょう



干すときは、新聞紙がざるを利用し、3~4日でカラカラに乾燥させます。

ナスナ

春になると花茎を伸ばし、小さな花を咲かせます。道端や土手、日当たりがよい場所に多くみられます。

効能：便秘、高血圧の改善、解熱作用など

お茶のつくり方

開花の頃、根ごと摘んで水洗いします。影干してしっかり乾燥させたら手でバラバラにちぎるかハサミでカットします。

10~15g程度を1ℓの水に入れ、10~15分ほど煮出します。



スギナ

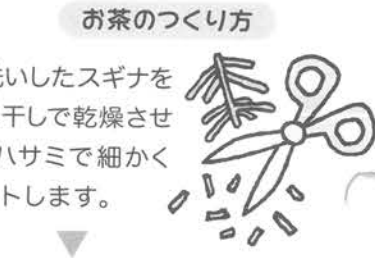
スギナはミネラルの宝庫！たくましくどこにでも自生していて、土手に多くみられます。

効能：血液サラサラ効果、疲労回復、利尿作用、解熱作用など

お茶のつくり方

水洗いしたスギナを天日干して乾燥させて、ハサミで細かくカットします。

弱火のフライパンで軽く煎り、5g程度を1.5ℓの水に入れ、5分ほど煮出します。



ヨモギ

薬効がある野草の代表格。生命力が強く、日当りのよい場所でみられます。

効能：冷え性改善、婦人病、高血圧など

お茶のつくり方

春の新芽を根ごと摘んで丁寧に水洗いします。天日干して乾燥させて手でバラバラにちぎるか、ハサミでカットします。

さらに香りを楽しむなら、弱火のフライパンで5分程度煎ってから煮出します。



ポットで抽出しても美味しくいただけます

ハコベ

繁殖力が強く、栄養価も高い野草で、比較的いたるところで見られます。

効能：利尿作用、健胃・整腸作用、お乳の出がよくなるなど

お茶のつくり方

6月頃までの全草を摘み、しっかり乾燥させて手でバラバラにちぎるか、ハサミでカットします。

5g程度を1ℓの水に入れ、5~10分ほど煮出します。

水分が多いのでカヒないように広げて干します



計って小分けにしておくと便利です

仏事のこころえ

供花の選び方

お墓参りになくてはならない、墓前に供える供花。お彼岸や命日を良き日にするためにも、基本的なマナーをおさえておきましょう。



どんな花を供えるの？

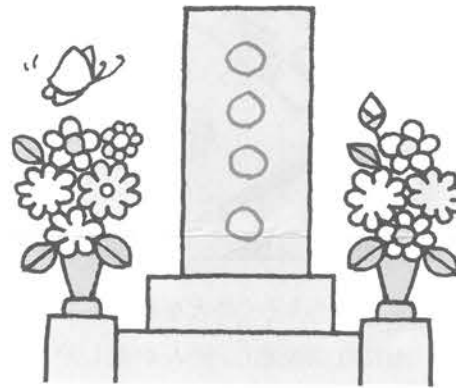
ご先祖様や仏様を供養するという気持ちこそが一番大切で、その気持ちの表れがお花を供えることなので、本来は「どうしてもこの花じゃなきゃダメ」という決まりはありません。庭にきれいに咲いた花、故人が好きだった花でも問題ありません。ただし、決まりはなくてもマナーがあります。親戚のお墓、配偶者の実家のお墓、知人のお墓などに供花する場合、一般的な仏花を持参の方がよいでしょう。亡くなられて四十九日を過ぎるまでは、白い花を供えることがマナーです。



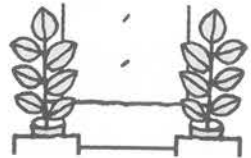
基本的な供花

一般的にお墓には左右に花立てがありますから、お花も1対用意します。風で倒れないよう、花立てに合わせて茎を短く切っておきます。偶数は死を分けることを意味し、縁起がよくないことから、花の種類は3本、

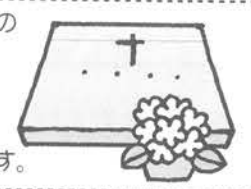
5本などの奇数本にするのがルールとされています。奇数本であっても、あまりにも数が多いと花で溢れて隙間がないため、湿気がたまりやすくなり、虫がわく、枯れやすくなる原因になるので注意しましょう。



神式のお墓では1対の飾りを飾ります。



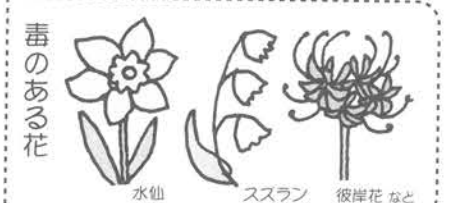
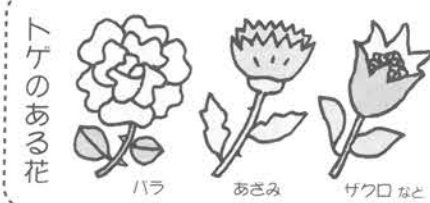
キリスト教のお墓では小ぶりの白いお花が多いようです。



供花に適さない花

バラ、あざみ、ザクロなどのトゲがあるもの、水仙、スズラン、彼岸花など毒があるもの、香りがきつい花は避けた方がよいでしょう。水仙やスズランなど

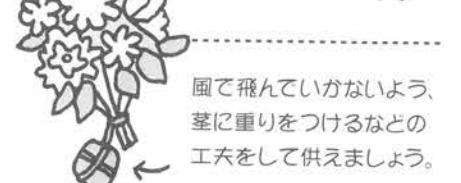
は墓前に似合いそうな花だけに、選ぶ際には注意が必要です。またユリのは、花粉が墓石につくとシミになることがあるので、気をつけましょう。



プリザーブドフラワーという選択肢

霊園やお寺などによって異なりますが、最近はお花の即日持ち帰りを推奨しているところもみられます。人が頻繁に訪れず、枯れた花がいつまでも残ってしまうことになり、景観的にも衛生的にもよいとはいえませんが、そんな中、近年は特殊な加工を施し、半永久的に咲き続けるプリザーブドフラワーを供える人も増えているそうです。プリザーブドフラワーは、鮮やかな色と柔らかい感触を長期間保つことができ、見た目も生花と遜色がありません。

ただし、霊園やお寺、宗派などにより、生花以外は好まれないケースもあるので、確認してから供えるようにしましょう。



風で飛んでいけないよう、茎に重りをつけるなどの工夫をして供えましょう。